

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	レジオネラ属菌遺伝子検査試薬の性能評価
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2019 年 9 月以降に、当院で肺炎と診断され喀痰検査を受けた患者さん 研究責任者：新潟大学医歯学総合病院 感染管理部 准教授 茂呂 寛
③概要	レジオネラ菌は暖かい水の中に生息し、しばしば重症の肺炎の原因となりますが、専用の治療薬を投与する必要があり、早い段階での診断が望まれます。現在用いられている検査方法では、レジオネラ菌の一部しか検出できないという課題が残されています。このため私たちは、喀痰を用いたより良い検査法を見出すため、複数の検査方法を比較・検討する研究を計画しました。
④申請番号	2019-0151
⑤研究の目的・意義	レジオネラ肺炎の診断が迅速かつ正確に行えるようになれば、重症化する前の段階で、早期から適切な治療が可能になることが期待されます。
⑥研究期間	2019 年 9 月 5 日から、2027 年 3 月 31 日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	レジオネラ肺炎が疑われ提出された喀痰検体のあまりを用い、測定します。使用するデータは匿名化し、研究に使用します。研究の成果は、学会や論文などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公開されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、診断病名、既往歴、使用薬剤、喀痰培養など検査結果
⑨利用の範囲	新潟大学医歯学総合病院 感染管理部 新潟大学 呼吸器・感染症内科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 感染管理部 准教授 茂呂 寛
⑪お問い合わせ先	新潟大学医歯学総合病院 感染管理部 茂呂 寛 Tel：025-227-0726